

美しいはココ+から。
あなたの生活に「美」をプラスする
情報誌【ココ+プレス】

COCO+PRESS

特集 ロフェ・アーチサポート

無意識に正しい姿勢をとるために
適正なインソールを投与する

vol.04
2020
SPRING

COCO+PRESS 2020 SPRING

特集◎第四弾【健康的な日常生活】

無意識に正しい姿勢をとるために
適正なインソールを投与する

TAKE
FREE
¥0

LOFE[®] 支持型インソール アーチサポート



インソールを超えたインソール 支持型インソール「LOFE・アーチサポート」 その構造を解説

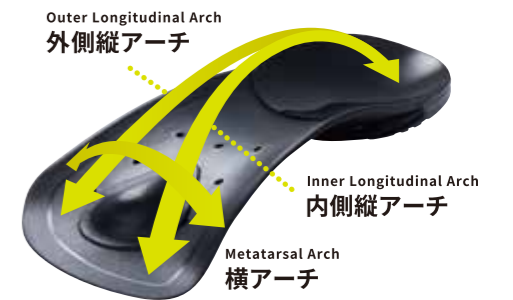
アーチサポートの役割

- 3 POINT**
歩いたり、走ったりする時、足に加わる衝撃を足裏全体に分散させて、身体のバランスをサポートします。
- 2 POINT**
足に加わる衝撃を吸収及び緩和して、歩くとき、足はもちろん身体全体が楽に感じられるはです。
- 1 POINT**
直立時や歩行時に足裏(Arch)を支え、姿勢を正しく安定させます。

このような方に喜ばれています

- 外反母趾・浮き指・開張足の方
- O脚・X脚の方
- 腰・膝・股関節の痛い方
- 足が疲れやすい・むくみ・冷えが気になる方
- 姿勢が気になる方(猫背・下腹)
- ゴルフ・ウォーキング・登山等、各種スポーツをされる方
- ジム・フィットネス等、トレーニングをされる方

足裏の3つのアーチを
しっかりと支え、
あなたのカラダをサポート。
プロアスリートも多数愛用。
今、リハビリテーション・医療福祉学会でも注目の
支持型インソール「LOFE・アーチサポート」は、
体幹を整え、様々なシーンでパフォーマンスを向上させます。



LOFE・アーチサポートはオーダーメイド商品です。測定した足型を基に一人ひとりに合わせて科学的に設計・制作したインソールをお届けします。
※お渡しまでに約40日間いただきます。
LOFE・アーチサポート ¥98,000(税別)

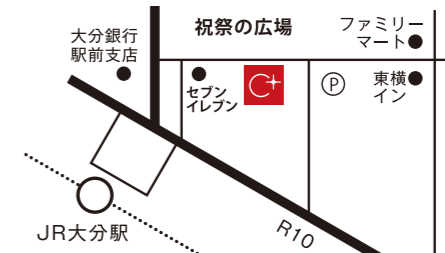
COCO+PLUS ココ+プラス

営業時間 10:00~18:00 / 定休日 毎週水曜

[商品に関するお問い合わせ]

☎ 0120・947・133

〒870-0026 大分市金池町2-1-3 レインボービル1F
●TEL・FAX:097-547-8533 ●E-MAIL: cocoplus@coconut-world.com



全国各地 60カ所以上の百貨店にてイベント展開中

イベントスケジュールはHPよりご確認ください
<http://www.coconut-world.com>

「販売17年の実績 ロフエ・アーチサポートがもたらす健康的な日常生活」

無意識に正しい姿勢をとるために 適正なインソールを投与する

患者さんを最適な状態へと導くことがリハビリの役目

「祖父から3代続いた柔道整復師の家系で、私も小学生の頃から整形外科医を目指していました。大学を卒業し、整形外科医として働いていましたが、手術をきちんと成功させても患者さんの痛みや不具合が完全にはなくならないことに疑問を感じていました。大学院に進んだ時に恩師である明石謙先生(故人)に『なんでも治そうと思いうな。治さなくていいんだよ』とアドバイスを受け患者さんと医師とは価値観が違うということに改めて気づかされたのです。リハビリテーション科へと医療の道を変えた伊勢真樹さんは話す。

でアイデアを出しながら最良の医療行為ができるところが、リハビリテーションの魅力。今でも多くを学んでいます。」

伊勢さんとロフエ・アーチサポートとの出会いはつい最近のことだ。

「高齢者は圧迫骨折が多く、再発も多数見られたのでデータを採るようにしたところ、姿勢が問題であることがわかりました。高齢者が自分で正しい姿勢を取ることが難しく、それを医療者が毎回正しく補助することも非常に困難。リハビリ科では座位から立つまでのサポート器具は使用していましたが、立位での正しい姿勢をとる方法を模索していたところ、日本リハビリテーション医学会でロフエ・アーチサポートと出会いました。無意識に正しい姿勢(ニュートラルポジション)に入れることが

非常に有意義。日本のみならずアジア市場に向けても進出が期待できるサポート器具です。」

伊勢さんはロフエを自身で体験し、リハビリテーションの現場での有効性を実感したという。

「私にとってロフエは治療薬と同じ。患者さんのことを考えれば、サポート器具を使うことで効果が臨めるのなら、それを使用した方がいい。現在、50人ほどにロフエを使用してもらい、リハビリへの効果を診ています。患者さんそれぞれのオブティマル(最適な状態を目指すことが、リハビリテーションの最終目的です)から。」

昨年5月の一般財団法人日本バランスポスチャリスト財団(※)設立後、伊勢さんと邵基虎理事がタッグを組み、トレーニング

の分野のみならず、リハビリ医療分野でもロフエを用いた運動処方方の有用性が検証されていく。徹底して患者ファーストな伊勢さんの姿勢は、リハビリテーション医学の発展に今後も影響を与え続けるだろう。

倉敷記念病院
リハビリテーション科統括部長
伊勢 真樹さん
医学博士。65歳。川崎医科大学卒業、同大学大学院修了後、大阪労災病院リハビリテーション科医長、川崎医科大学リハビリテーション科講師を務め、1994年に同大学助教授、川崎医療福祉大学リハビリテーション学科教授となる。1998年には倉敷中央病院リハビリテーション科主任部長、同病院リハビリテーションセンター長。2017年より倉敷記念病院勤務となる。

※一般財団法人 日本バランスポスチャリスト財団
令和元年5月設立。正しい姿勢づくりを通して健康長寿をサポートするという予防視点に加え、機能改善(リハビリ)や社会復帰(セルフケア)への姿勢や動作指導のスペシャリスト育成を目指す。
代表理事:高田涼子 理事:邵基虎



[Wedge 2020年2月号より引用]

Q 人体における足の役割とは?

A 足はカラダの土台。

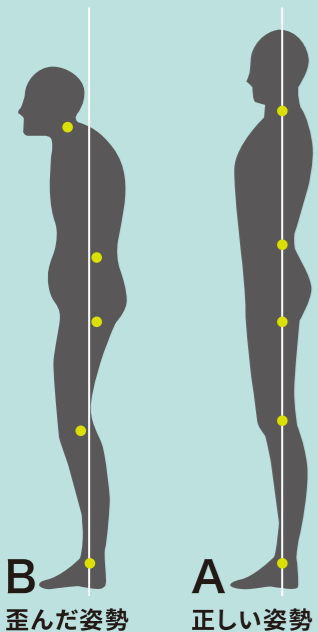
現代人は1日平均約6000歩、歩くといわれています。仮に体重を50kgとすると1日当たり3600トンもの負荷が両足に加わることとなります。さらに急ぎ足やジョギングになるとその負荷は数倍になり、いかに足が毎日過酷な労働に耐えているかは容易に想像ができるでしょう。しかも足は体の重心が前後左右に傾かないよう常にバランスを取りながら、歩行時に地面からの衝撃を吸収(緩衝)する役割も担っています。その為、足首から先には全身の4分の1にもなる52個の骨と66個の関節、複数の靭帯、筋肉、血管が複雑に作用し合い直立歩行を可能にしているのです。

人生 80 年を超える現代、「健康で長生き」である為に足を本来の働きが出来るよう、常に維持・管理しておく事は人生にとって最も優先すべき事の1つと考えられるでしょう。

Q 正しい姿勢とは?

A 重心バランスが安定している姿勢。

そもそも正しい姿勢とはどのような状態でしょうか。左の図をご覧ください。自立しているものには必ず重心があり、その重心バランスが安定しているものほど倒れにくいという事になります。



A 正しい姿勢 **B** 歪んだ姿勢

The importance of foot health

ご存知ですか?

足の健康の重要性

人の足は人間工学上の最大の傑作であり
また最高の芸術作品である

レオナルド・ダヴィンチは芸術家であると同時に生涯をかけて解剖学の研究者でもありました。その彼が人間の『足』について上記のように称したお話は隠れた名言として残っています。